

芸短生 動物園 ウォッチ

大接近!

アシカの ごはん事情って?



ごはんを持ってくる飼育員さんに大はしゃぎなカルフォルニアアシカたち。2頭の赤ちゃんが生まれて1年が過ぎました。ごはんが食べられるようになるまでの大変な訓練を取材してきました!
(大阪芸術大学短期大学部メディア・芸術学科 竹内夏海)

アシカの主食はアジ。子どもと同じようにアジを食べますが、生まれたときから大人と同じものを食べられるわけではありません。赤ちゃんは生後6〜7カ月までは母乳を欲しがります。でも親が育児放棄したり、母乳を与えるのを嫌がったりする場合もあるので、そのときは人工保育に切り替えます。生後10カ月ほどで離乳訓練を開始します。野生と違い、動かない魚を工サと認識してもらおうのは大変なことなのです。

離乳には、食べることに集中できる環境が必要です。お母さんに甘えてしまい、鳴き声に気が散ってしまうと、自然で生き残る強さでもあ

と食べる練習が難しいそうです。集中してもらったために展示されていない遠く離れた離乳用プールに移します。

離乳期間は個体差があります。昨年6月に生まれた2頭のうちの1頭、オスのガルーガは、最初群れがいる隣のプールでも大丈夫に思われたので試していました。しかし、仲間の鳴き声に反応してしまい、離乳用プールに切り替えたそうです。

無事に離乳ができた後もこれで安心とはいきません。アシカは普段群れで生活をします。そのため、一度群れを離れてしまうと敵だと認識されてしまつて、攻撃を受ける可能性があります。家族同士でも起こることに驚きましたが、自然で生き残る強さでもあ

離乳は一大事



大きくても小さくてもみんなお昼寝大好き

編集後記



メディア・芸術学科
竹内 夏海

飼育員さんと会話するように泳ぎ回るアシカ。その姿は、いつまで眺めていても飽きません。アシカが持つたくさんの魅力がどうやったら伝わるか、悩みながら書きました。この記事を読んでアシカの家族に興味を持ってもらえたらうれしいです。



ご馳走にワクワクアジを手にした飼育員さんを見つめるアシカ...待ちきれませぬ!

アジをパクパク

天王寺動物園ではアジを2日2回、朝と夕方に与えています。量は季節により異なりますが、5月から7月にかけては繁殖期。ごはんを食べることそつちのので、オスがメスを追いかけて回すそうです。冬場はオスは約7、8キログラム、メスは約5、6キログラム食べます。

飼育員さんが2キログラムのバケツを持って登場すると、寝ていたアシカたちは一斉に泳ぎだします。二頭がやってきてチラチラと見る姿も、待ちきれない様子がかわいらしいです。飼育

員さんが名前を呼びながら投げられる魚を上手にキャッチ!まるで会話しているみたいです。

野生では泳いでいる魚を捕まえる必要はないので、動物園ではその必要はないので、余裕の表情を浮かべているように見えます。均等になるように投げている飼育員さんもナイスコントロールです!

ここが動物園ならでの珍訪問者!!

アシカたちを眺めていると、柵の中に大きな鳥が!

野生のアオサギでした。勝手に入ってきているにも関わらず、何事もなかったかのように、お互いに過ごしている光景は天王寺動物園ならでは。

アジを狙い、普通にアシカの上に乗って横取りします。怖くないのかなと思いましたが、逆にアシカが怖がって逃げる一面も。意外だったので驚きました。

アオサギ=ライバル?それとも友だち?



イラストレーション/望月けい

夢に向かって最初の一步を踏みだそう!

大阪芸術大学短期大学部

伊丹キャンパス/メディア・芸術学科、デザイン美術学科
大阪キャンパス/保育学科

芸短ってどんなところ? まずは授業を体験してみよう!

オープンキャンパス de 体験入学

高校生限定

2020 8/30(日) 9/27(日)・11/8(日)・2/7(日)
※日程は変更になることもあります。

望月けいイラスト入り
クッキー一枚 クリアファイルプレゼント!
※イメージです。

Webから事前申込要▼
大阪芸短